

検査では「異常なし」でも

【特集】  
コロナから  
3年

ワクチンから  
2年

# 多種多様な症状が出る ワクチン後遺症

新型コロナウイルスの後遺症に苦しめられている人は少なくない。その後遺症は1年たっても治らないこともある。これまで3000人を超えるコロナ患者を診てきた「町医者」、長尾クリニック名誉院長の長尾和宏医師は、「検査では『異常なし』と言われても、諸症状は激烈」と後遺症の恐さを強調する。

日本でのワクチンの総接種回数

は2月6日現在で約3億8000万回となっている。このうち1回以上接種した人は、約1億5000万人で、国民全体の81・4%に及ぶ(13ページ表1参照)。

長尾和宏医師は、「日本が世界一ワクチンを打った結果、世界一の感染者を出している国となっている」と指摘する。

その理由は、ワクチンを打てば打つほど感染しやすくなる「抗体



長尾和宏医師。1984年、東京医科大学卒業後、大阪大学第二内科入局。95年、兵庫県尼崎市に長尾クリニックを開業。医学博士。最新作の「ひとりも、死なせへん」ほか著書多数。(写真/本人提供)

## 後遺症と後症候群

依存性感染増強(ADE)が想定されるといふ。自然感染ではなくワクチン接種によって強力に誘導された悪玉抗体が、ウイルスの細胞への侵入を容易にする。つまりワクチンがウイルス感染を促進してしまうという現象だ。

ワクチン接種後の死亡例も後を

絶たない。厚生労働省は1月20日、新型コロナウイルスの接種と

副反応との関連性を議論する厚生科学審議会予防接種・ワクチン分

科会を開催した。同会に提出された資料によると、予防接種開始

(2021年2月17日)から22年12月18日までにコロナワクチン接

種後の死亡として1967件(ファイザー社製1751件、モデル

ナ社製211件、アストラゼネカ社製1件、武田医薬品工業社製ノバックス1件、ファイザー社製小児用3件)の報告があった。死亡するケースだけに限らず、ワクチン後遺症に苦しめられている人は少なくない。米国のFLCCC(新型コロナウイルス救命治療最前線同盟)による「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の予防と治療に関するプロトコル」では、100人に1人程度にワクチン後遺症があるというデータを明らかにしている。

これについて、長尾医師は「接種当日から2週間以内に顕著な諸症状が出て、1カ月以上持続し、通学や就労が不能になった人を『ワクチン後遺症』と呼んでいる」という。

長尾医師によると、これまで約200人の後遺症患者を診療し、その症状が多彩なため「症候群」と呼び、主要症状から①慢性疲労症候群タイプ、②線維筋痛症タイプ、③動悸・胸痛タイプ、④胃連動消失タイプ、⑤歩行障害タイプなどに分類する。

「病院のあらゆる検査では『異常なし』と言われても、諸症状は激烈です。症状出現頻度のランダム性が特徴です。強い倦怠感が1年以上も続き、中には寝たきり状態になることもあります。接種2週

間後から歩行障害や言語障害が出現しヤコブ病と確定診断され、治療のかわりに3カ月後に亡くなる方もいます」と長尾医師。

接種して1〜3カ月後に種々の症状が出る人も少なくない。このようにタイムラグがあるために因果関係の証明が困難でも、ワクチン接種との関連が疑われる人を長尾医師は「ワクチン後症候群」と呼ぶ。一番多いのは関節リウマチなどの自己免疫疾患で、集中力や理解力の低下などの認知機能低下を訴える人も多いという。

ワクチン後遺症の治療について、FLCCCが昨秋に出した治療ガイドラインでは、まず「断食」、すなわちファスティングをすすめている。1日2食にして間食をしないとオートファジー(自食作用)機構が働き、免疫システムの恒常性の促進効果が期待される。

「当院では、個人で輸入されたイベルメクチンを持つている方は、1〜4週間程度、連日で飲むことをアドバイスしています。その他、亜鉛製剤やビタミン剤、漢方薬などの薬で治療しています」という長尾医師は、ワクチン後遺症は難治性の病気のため、メンタル面のサポートも含めた緩和ケアの必要性も説く。

秋山晴康(編集部)



コロナの5類移行で「医療難民化」する理由

# 週刊金曜日

2/17 2023

1412号

毎週金曜日発売  
定価600円

雨宮処凛・宇都宮健児・想田和弘・田中優子・崔善愛・中島岳志・本多勝一

私たちの社会が生んだ  
“山上徹也”とは  
何者なのか？

